

すべての家庭を、停電レスに。

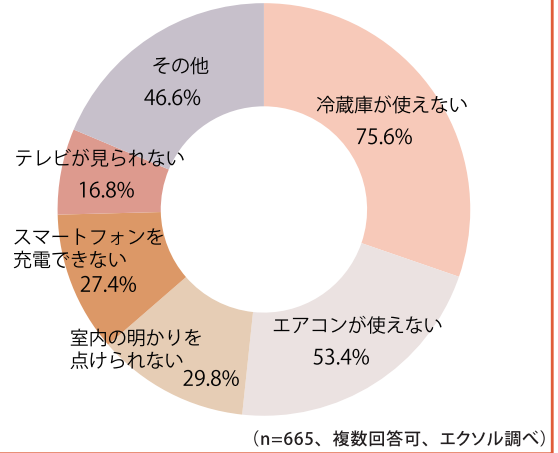
多発する災害による停電、いつもの暮らしが脅かされる

近年、自然災害による大規模な停電が多発しています。停電が発生すると冷蔵庫やエアコンなど、普段当たり前に使っているものが使えなくなることへの不安の声が多く聞かれます。

日本災害年表

発生日	災害	マグニチュード	死者・行方不明者	電気	
				停電	復旧
1995/1/17	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)	M7.3	死者6,434人、行方不明者3人	最大260万戸	6日間
2004/10/23	新潟県中越地震	M6.8	死者68人	30万戸以上	11日間
2011/3/11	東日本大震災	M9.0	死者15,900人、行方不明者2,523人	460万戸以上	8日間
2016/4/14	熊本地震	M7.3	死者211人	47万戸以上	5日間
2019/9/5	令和元年房総半島台風(6日間に及ぶ水害)		死者3人	93万戸以上	2週間
2019/10/6	令和元年東日本台風(2日間の大型台風)		死者105人、行方不明者3人	52万戸以上	1週間
2020/7/3	令和2年7月豪雨(約1か月に及ぶ大型台風)		死者86人、行方不明者2人	1万戸以上	9日間
2021/2/13	福島県沖地震	M7.3	死者3人	95万戸以上	1~2日間
2022/3/16	福島県沖地震	M7.3	死者4人	220万戸以上	1~2日間
2024/1/1	能登半島地震	M7.6	死者241人、安否不明者9人(2/16時点)	4万戸以上	1か月以上

自宅が停電した時に困ったこと、困ることは？



停電から身を守るためにはエネルギーを自給することが必要

太陽光発電・蓄電池・V2H(EV・PHEV)が実現するエネルギーの自給

● 太陽光発電のみ

家庭のエネルギー自給率

約 **30%**

日中で太陽光発電が発電している時間帯のみ電気を使えます。

● 太陽光発電+VtoH

家庭のエネルギー自給率

約 **30~70%**

太陽光発電からEV(PHEV)に電気をためられます。家庭用蓄電池と比べて大容量なので、数日間の電気を供給できます。

● 太陽光発電+蓄電池

家庭のエネルギー自給率

約 **70%**

蓄電池に電気をためられるようになるので、夜間も太陽光発電で発電した電気を使えます。

● 太陽光発電+蓄電池+V2H

家庭のエネルギー自給率

約 **90%**

昼間にEVがない場合でも、蓄電池に電気をため、さらに後からEVを充電できるなど、より効率的に電気を使えます。

※家庭のエネルギー自給率は推定であり、各家庭の電気の使用状況によって異なり、その結果を保証するものではありません。

2024年内にエクソルからV2H対応システムを発売予定

災害による停電を経験した家族、V2Hで「停電を感じない生活」を実現

夏の暑い時期に大型の台風が直撃し、Aさんが住む地域一帯で大規模な停電が夜中に発生してしまいました。Aさんは所有していたEVで自宅に給電できるようにし、冷蔵庫やリビングの照明、エアコンといった必要なものを使えるようにしました。朝になり起きてきた子どもたちは電気もエアコンもついていたので、テレビが点かないことで初めて停電に気が付くほど、「停電を感じない」普段と同じ生活を送ることができました。

